

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話(243)0141
14年6月16日

第二一回青年部総会開催!

六月七日(土)、山ノ下まちづくりセンターにて、新潟民商青年部・第二一回定期総会が開催され、計八名が参加しました。

総会は長崎誠部長の挨拶でスタートし、一年間の活動報告では「訪問対話運動を中心に活動し、訪問した際に要望の出された確定申告学習会や日計表を活用した記帳学習会にも取り組んできました。昨年十一月、今年四月に開催された名刺交換会には企画の段階から参加し、成功させてきました。」と発言。



青年部新役員

役職	氏名	業種	支部名
部長	長崎 誠	資源回収	大形
副部長	小池 賢太	中華料理店	駅前
副部長	横山 円	喫茶店	石山
会計	阿部 孝之	園芸	白根

その後の方針案の提案では、「毎月の役員会を必ず開催し、訪問対話運動やアンケートで要求を集め、活動を計画する」「青年部運動の中で親会との連帯を強める」といった他、第二次ベビーブーム世代の卒業により大幅に青年部員が減少することに触れ、「仲間増やしの運動・役員増員・強化を進めていく」といった方針が提案され、新役員との提案と共に参加者満場一致で承認されました。総会終了の後には前青年部長の店・とんときに移動し、第二部の懇親会となり、交流を深めました。

青年部主催 地引網&BBQ

- ☆日 時：八月三日(日)朝七時
- ☆場 所：聖籠町網代浜(地引網)
- ☆参加費：大人一五〇〇円、子ども五〇〇円
- ☆青年部以外の方、家族での参加も大歓迎です!

日程のご連絡

- *財政部会
日時：6月26日(木)
午後7時～
会場：民商会館
- *新潟民商
第67回定期総会
日時：7月20日(日)
午後1時30分～
会場：東映ホテル

全商連共済会総会に参加して

新潟民商共済会副理事長 松本 里志

四年前の新潟県開催の時に、新潟民商共済会も九〇%を目指していましたが、八八%ともう少しでした。その総会で理事長の中村さんが「新潟民商共済会は九〇%にする」と発言して、昨年達成しました。今回新潟民商共済会は九〇%達成した事で、全商連共済会から表彰を受けました。これは、支部役員さんと共済理事・係の皆さんの奮闘があったからだと思います。

全商連共済会から東日本大震災の特別措置で二二二人に一億七四五五万円の震災見舞金を届ける活動で被災者を励ました、との報告がありました。また福島代表発言では、原発の影響で民商の四〇%の会員さんが地元を離れている、一日も早く元の安心して商売が出来るようにと、脱原発を訴える発言もありました。

愛媛の発言に「全国に追いつけ」と発破をかけて、過去の発言者からも学んで、粘り強い訪問対話をつけ、ようやく八〇%に到達した、との発言もありました。

その他発言の内容で共通していた事は、①役員会議の定例開催で役員さんの団結と共通の目標、②支部や班の役員さんと一緒に会員訪問で共済の理解と訴え、③学習会や集団検診・一点検診、またはレクで懇親を深める、等の報告がありました。

新潟民商共済会が4年前の新潟開催の総会に向けて、(その約2年半前から)長・中・短期の目標をその都度決めて、支部の役員さん達と会員訪問を繰り返して来た事が全国に波紋を与えたのかも知れません。

今回全商連共済会総会で支部の役員さんや理事・係の方々とは会員訪問をして、「より民商らしい共済」「一人は皆のために・皆は一人のために」へと決意新たに全会員加入を目指した運動をして行きたいと思えました。

新商連第五一回定期総会

六月八日（日）、新潟県商工団体連合会第五一回定期総会が、東映ホテルにて開催されました。総会には代議員七七名、評議員二七名の計一〇四名が参加しました。民商・新商連は、この一年、深刻な苦境に立たされている多くの中小業者・県民の緊急切実な悩み・要求を汲み上げ、活動してきました。また、拡大運動では「増やしてこそ民商」「仲間増やし」と運動に取り組んできました。

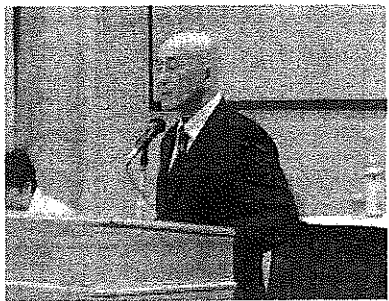
渡部新商連会長は、はじめに「今後の民商の土台を作る総会にしたい」と述べ、「国民に攻撃をしている安倍首相に対して声をあげなければならない」と民商拡大の必要性を語り、会長としてこれからも頑張りたいと述べました。

一般討論では、新潟民商から代表で女池支部の会員さんが発言しました。発言内容は、下記記事で紹介されています。

総会の途中には、大坂経済大学 経営学部 客員教授の岩本沙弓さんによる講演が行われました。講演のテーマは「通商問題としての消費税」です。内容について詳しくは、次週の赤梓ニュースで紹介致します。

最後に、新商連副会長の山田さん（新潟民商東山ノ下支部）が退任のあいさつをしました。長い間、新商連の役員を務めて頂き、本当に、ご苦労さまでした。

総会後には懇親会があり、大いに盛り上がりました。



女池・小針支部で

婦人部合同交流会

六月六日（金）、出来島にある山潟支部会員のお店「竈（かまど）」で婦人部交流会を開きました。（お水にこだわった和食のお店です）女池支部から六名、小針支部から六名の婦人が参加。



まず、女池支部の婦人から「債権管理課」での体験を語っていただきました。最初旦那さんが一人で窓口に行った時、払えるだけ納めていたにもかかわらず、自分の子供くらいの職員に一括で払うよう強く言われ、落ち込んでしまった。それから民商の力を借り大勢で訴えたところ、対応に変化があり、向き合ってくれるようになった。とても心強かった、感謝しているといった内容でした。小針支部の婦人達は役所のひどい対応を信じられなかったようですが、実態を知り、要求実現のためには民商の拡大が大切だと確信した様子でした。

あとはおいしい昼食をいただいた後、輪になり、それぞれの婦人会の活動内容など交流を深めました。課題は参加者の拡大（若者）です。

八月二日（土）三日（日）には、母親大会が神奈川県で開催されます。去年参加された方からも、いろんな業種の人と交流できるし、講演もとても良かったと聞きました。少しでも関心のある方は、民商に声をかけて下さい。またいろんな支部が交流していただけたらと思います。

